

# 城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校  
スーパーサイエンスハイスクール  
活動報告紙

令和7年度1月号  
SSH課発行

## 第1学年 理数コース 小・中学生のためのタネ×ラボ

本校では、課題研究において生徒が自身の興味・関心を起点として研究テーマを設定する力を育成することを目的に、福岡市科学館と連携した探究活動「小・中学生のためのタネ×ラボ～好奇心のタネを育てよう」を実施しました。本企画は理数コース1年生が、段階的な授業と科学館での学習・発表活動を通して、課題研究への出発点を形成することをねらいとしています。

授業では、まず生徒一人ひとりが関心のある事柄を整理し、スライドを用いて発表する活動から始めました。その後、学校内外の探検や福岡市科学館での展示見学を通して疑問や気づきを深め、中間発表に向けて探究内容を発展させました。中間発表は福岡市科学館にて実施し、教職員に加えて科学館職員の方々からも専門的な視点での意見や助言をいただきました。これらは生徒にとって、自身の考えを客観的に見直し、内容を一層深める上で大変参考となりました。

12月の発表会では、小・中学生や一般来場者に向けてポスター発表を行い、多くの質問や意見を受けることで、生徒は自らの考えを分かりやすく伝える力を実践的に高めることができました。事後アンケートでは、「情報を整理して考察する力が伸びた」「理由や原因を意識して考えるようになった」「主体的に学習に取り組めた」といった感想が多く寄せられ、本企画が生徒自身にとって探究の手応えを実感し、今後の課題研究へ向かう意識を高める有意義な取組となりました。



科学館探検の様子



中間発表の様子



ポスター発表の様子

## SWIFTプロジェクト

令和7年12月19日(金)、22日(月)に城南小学校6年生を対象とした科学実験教室を実施しました。この取組は、「SWIFTプロジェクト」と呼ばれ、女性の理系研究者を育成することをねらいとして、理系分野で活躍する女性や女子生徒によって行われる科学実験教室です。この「SWIFT」は Science、Woman、Innovation、Future、Teamwork の頭文字を取ったものです。当日は、ペーパークロマトグラフィーの実験を行い、水性ペンのインクの中に隠れている色素を分離しました。理数コース及び理系の女子生徒は、TAとして参加し、小学生の実験のサポートをしました。交流の時間には、高校での研究活動や今後の進路について考えていることなどを話してもらいました。小学生の感想からは、実験で様々な色が確認できたことに対する驚きや高校生との交流を楽しめたことがよく伝わっていきました。高校生にとっても地域の小学生と交流する貴重な機会となりました。



講義の様子



実験の様子